

ラックオー

Rack-O

2～4人用 8歳以上 所要時間約30分

内容物

60枚のカード、4個のカードラック、1冊のルールブック

ゲームの目的

何ラウンドかをプレイし、誰よりも早く500点に到達する事が目的です。各ラウンドでは、手前は最も低い数で奥は最も高い数へとなるように数を並べるためにラックにあるカードを並び替えます。画像2を参照してください。

準備

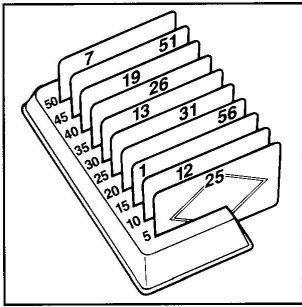
1. 得点を記録するために、紙と鉛筆を用意してください。

2. **カード:** ラックオーカードは1～60で構成されています。使用するカードはプレイ人数に依存します。

| | | |
|-----------------|------------------|------------------|
| 4人プレイ 60枚全てのカード | 3人プレイ 1～50までのカード | 2人プレイ 1～40までのカード |
|-----------------|------------------|------------------|

3. **ラック:** カードを山札にして一つにまとめてテーブル中央に置きます。カードは山札か捨て札の片方から引く事ができます。そして、各プレイヤーは、カードラックを受け取ります。

4. **カードを配る:** 各プレイヤーは山札からカードを1枚引きます。そして最も高いカードを引いたプレイヤーはディーラーとなります。全てのカードを山札に戻し、山札をよく混ぜます。そして、1人ずつにカードを1枚伏せて配ります。配られたカードは手札となるラックに入れます。入れる順序は一番奥の#50から開始し、#45、#40、#35...と手前に1枚ずつ入れて最後は一番手前の#5に入れます。



画像1: ゲーム開始時の初期手札の例

5. **山札の準備:** 配らなかつたカードを数値が下になるようにして、テーブル中央に置きます。山札の一番上のカードを1枚めくり、表向きにして山札にとりに置きます。その表向きになったカードの位置を捨て札置き場と呼びます。

ゲームのプレイ

ラックオーはラウンド制です。各ラウンドは1人のプレイヤーが"ラックオー"を完成させる事で終了します。"ラックオー"とは、一番手前は最も低い数から始まり昇順に並んでいて一番奥が最も高い数で構成されている事です。(画像2を参照) 誰も500点に到達していないなら、ゲームを続行します。ディーラーは左隣の人に移動します。

手番が来たら:

山札の一番上のカードを引くか、捨て札の一番上のカードを引きます。

捨て札の一番上のカードを引いたのであれば: ラック内のカードと今引いたカードを必ず入れ替えなくてはなりません。

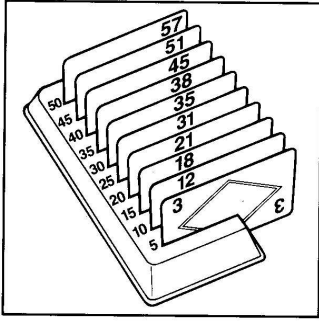
山札の一番上のカードを引いたのであれば: ラック内のカードと今引いたカードを入れ替えても良いです。もしくは、引いたカードを捨て札にしても良いです。捨て札は表向きにして捨て札置き場に重ねて置きます。

ターンは終了です。

ノート: 山札が尽きた場合は、捨て札を裏返して新たな山札とします。(訳注: シャッフルしません) そして、山札の一番上を1枚表にして、捨て札置き場に置きます。

ラウンドの勝者：“ラックオー”が宣言され、そのプレイヤーの 10 枚全てのカードが昇順に並んでいるなら、そのラウンドは終了です。プレイを止めて、得点計算を行います。

得点計算



画像 2: このプレイヤーは“ラックオー”が完成し、75 点を得ました。

画像 2 を参照してください: このプレイヤーは“ラックオー”を完成させたので、75 点を獲得します。内訳は、ラックに入れたカードを 1 番手前から数えて、昇順に成立するごとに 1 枚 5 点となります。また、“ラックオー”が宣言できた場合はボーナスで 25 点を得ます。

その他のプレイヤーは、一番下から一番上に向けて昇順の並び替えが現在成立している所までカードを数えて(最初は#5 です)1 枚ごとに 5 点で計算します。

画像 3 を参照してください: このプレイヤーは 30 点獲得します。最初の#5 から数えて、6 枚目のカードの 31 まで成立していますが、22 のカードで並びが崩れています。

ノート: 22 の次の 4 枚のカードは並びが成立していますが、得点計算に加える事はできません。

時々、あるプレイヤーは 1 ラウンドに 5 点しか獲得する事ができない時があります。スロット#10 のカードがスロット#5 のカードより低いからです。残り 9 枚のカードは得点計算を行えません。

新たなラウンドの開始: 直前のディーラーの左隣のプレイヤーがカードを回収し、よく混ぜます。そして、新しいラウンドを開始します。

勝者

合計 500 点に最初に到達したプレイヤーが勝ちです。複数のプレイヤーが 500 点を越えているなら、最も高い得点を得たプレイヤーが勝ちます。

バリエーションルール

2 人プレイ

より楽しく競技性を高めるためには、次のルールを追加すると良いでしょう。ボーナスラックオーを完成させるために、“ラックオー”が完成しても、(75 点を獲得する目的で)“ラックオー”の宣言をしなくても良いこととします。

画像 4 を確認すると 3 枚の連続した数字(24.25.26)ができています。

パートナー戦

4 人でプレイする場合はパートナー戦もできます。向かい合ったプレイヤー同士でチームを組みます。各ラウンドの得点計算時にそれぞれのチーム同士で得点を合算して計算します。あるチームが 500 点に到達したら、そのチームが勝ちです。

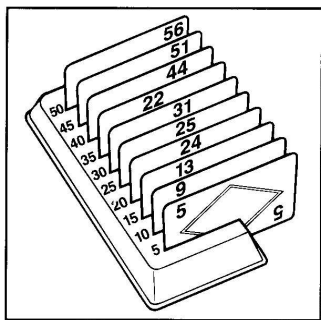
ボーナスラックオー

ラックオーを完成させたプレイヤーは完全に連続した数値で 3 枚以上並べる事ができたのであれば、ボーナスポイントを得ます。(画像 4 は 3 枚の連続した数が成立しています。) 戦略としては、すぐに“ラックオー”を完成させて 75 点を得るか、ボーナスポイントを得るために待つかです。ただし、他のプレイヤーが自分より早く“ラックオー”を完成させるかも知れないリスクがあります。他のプレイヤーが先にラックオーを完成させた場合は、連続した数値で 3 枚以上並べる事が成立していたとしても各カードは 5 ポイントしか生み出しません。

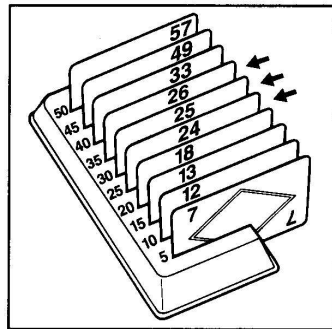
ノート: 連続した数値で 3 枚以上並べる事が 2 か所以上で成立した状態で“ラックオー”を宣言したとしても、その中の 1 か所からのみ ボーナスを受け取ります。

ランのボーナスポイント (※ランとは連続した数値)

| ラン | ラックオー完成時のボーナス | ボーナスポイント | 合計 |
|-------|---------------|----------|-----|
| 3 枚 | 75 | 50 | 125 |
| 4 枚 | 75 | 100 | 175 |
| 5 枚 | 75 | 200 | 275 |
| 6 枚以上 | 75 | 400 | 475 |



画像 3: このプレイヤーは 5 枚目までカードが成立し、30 点を得ました。



画像 4: 3 枚の連続した数値